

# 高山驛飛みなみ町

7号



## 下二之町が市街地景観保存区域に追加指定

去る平成27年3月31日付けで、下二之町の一部が、新たな市街地景観保存区域に指定されました。

**市街地景観保存区域**とは、市街地景観保存条例に基づいて高山市が指定する**歴史上意義を有する建築物などが周囲の自然的環境と調和し、高山市の伝統と文化を具現及び形成している地域**のことです。

この地域は2種類に区別され、下二之町保存区域は第1種保存区域に当たります。

（■第1種保存区域 ■歴史的、伝統的建築物の周辺地域 または自然景観が優れていて、建築物と調和している地域で、景観及び環境の保全に配慮する地域）

指定を受けると、景観保存に関わる建物の修繕や、清掃や防火訓練などの活動に必要な補助が受けられます。もちろん無制限ではなく、下記に該当する行為を行う場合は、あらかじめ行為の内容について届出をしなければなりません。

- ① 建築物その他の工作物の新築、改築、増築及び撤去
- ② 宅地の造成、土地の形質の変更
- ③ 木竹の伐採
- ④ 建築物その他の工作物の色彩の変更
- ⑤ その他、市街地景観の保存に影響を及ぼすおそれのある行為

つまり、建築物の高さや形態、コンクリート・金属物といった物量感、工作物などの位置、規模、形態および意匠、道路に面した部分の色、屋外広告物のデザインなどに制限が生じます。

また、現存する建築物、工作物のうち景観にそぐわないものは、今後改築に際し基準に基づき周辺との調和を図ることが求められます。

伝統的な生業（茶舗・呉服屋・和菓子屋・和楽器店など）を残す商店街としての景観と、御坊坂から続く「たて寺内」の昔ながらの佇まいを残す景観、江名子川沿いの美しい景観という、特徴的な3つの面で形成されるのが下二之町保存区域の特性です。5つの屋台組という伝統的なコミュニティによって一体的に維持保全が行なわれています。

今回の指定に合わせて、下二之町景観保存会（会長／嶋田政吾さん）が結成されました。

この度の指定は、平成21年の八幡町保存区域・上一之町大町会保存区域の指定から、6年ぶりの追加指定となりました。

お寄せいただきましたご意見などは、編集して本誌等でご紹介させていただきます

### 今年で3回目 ご朱印めぐり

#### 総会の「ご報告」

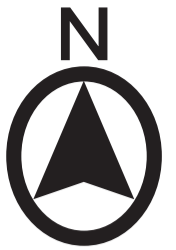
去る7月9日、平成27年度高山市景観町並保存連合会の総会が開催されました。

- 時間 午後5～6時
- 場所 洲さき
- 出席者 62名
- 議案1号 平成26年度事業報告及び決算の承認について ↓ 異議なく承認
- 議案2号 平成27年度事業計画（案）及び予算（案）について ↓ 異議なく承認
- 27年度視察研修について ↓ 富山県高岡市、石川県輪島市方面を予定
- その他意見
- 来賓祝辞
- 高山市長
- 高山市議会議長
- 飛驒・高山観光コンベンション協会専務理事

「子ども達に景観町並保存の大切さを知ってもらおう」と、関わりがある各所をスタンプをもらいながら観て巡る催し物（主催／子ども伝承部会・後援／高山市）が7月18日に行なわれました。曇り空の中、子ども達は元氣一杯にポイントを巡りました。

- ・他の学校の子と仲良くなれてよかった。
  - ・近いけどなかなか行けない所について詳しく話が聞けてよかった。
  - ・こんな所があったことを知らなかった。
  - ・家族でも行ってみたい。
  - ・お寺で鐘をならしてみたい。
  - ・次回は空町のクイズラリーをやって欲しい。
  - ・空町のことを知って欲しい。
- アンケートに、様々な感想を残してくれました。次の日から、高山が少し違って見えたかも！





はるか昔より、代々の国司や領主によって信仰されてきた東山神明神社は、金森長近公からも手厚く保護されました。

この絵馬殿は、もともとは高山城の二の丸にあった月見殿でした。元禄8年(1695)、天領になった高山に城は必要ないと、幕府の命で取り壊された時に移築されたこと伝えられています。

最も古い絵馬には、長近公が飛騨を治める際、鎮守祈願のため「高山城より敬白」と記したものが残っています。つまり、移築される前から奉納されていた古いものです。構造は、四方が吹き抜けて壁が無く、面取りがほどこされた太い角柱が立っています。その頭部にある美しい曲線の舟型肘木は、深い軒をしつかりと支えています。雪深い高山に相応しい、とても力強い形です。



**東山神明神社 絵馬殿**  
ひがしやま しんめい じんじゃ えまでん



**雲龍寺**  
うんりゅうじ

**若達町**

**大雄寺**  
だいおうじ



**愛宕町**

**天性寺町**

**素玄寺**  
げんじ



素玄寺は、慶長13年(1608)に亡くなった初代高山城主「金森長近公」の菩提を弔うため、2代目高山城主 金森可重がその翌年建立した曹洞宗のお寺です。寺の名前は、法名「金龍院殿前兵部尚書法印要仲素玄大居士」に由来します。

現在の本堂は、火災によって焼失した本堂にかわり高山城の三の丸から380年前に移築された評議場です。素玄寺は建立以来、金森家歴代の菩提所で、金森家から寄進された寺宝が沢山収蔵されています。

鶴毛陣羽織は、長近公が豊臣秀吉から恩賞として受け取ったものと伝えられています。その他、軍扇・采配・吉久鎧通し・長近公肖像画などがあり、本堂や庭園とともに、高山市文化財に指定されています。

8月には、松倉山馬頭観世音菩薩の縁日法要にあわせて「松倉絵馬市」が行われます。家内安全・生業繁栄の功德ありとされ、市内はもとより、全国各地から多くの方がお参りに訪れ、絵馬を買い求めます。

**法華寺**  
ほっけ

三木自綱が飛騨を治めて松倉城を築くおり、城下に真言宗のお寺として善応寺が誕生しました。松倉城落城と共に焼けかけましたが、3代目高山城主 金森重頼によって、寛永3年(1626)に曹洞宗のお寺として再興しました。曹洞宗は、「禅宗」の宗派の一つで、その教えの「坐禅」にありま。

**善応寺**  
ぜんおんじ

↓悟りを開かれたことに由来しています。座ることで身体を安定させ、心を集中させることで、身・息・心の調和をはかります。私たちは普段の生活の中で、自分勝手な欲望や、物事の表面に振り回されてしまいがちですが、坐禅においては、様々な思惑や欲にとらわれないことが大切です。



**宗猷寺町**

**宗猷寺**  
そうゆうじ



**江名子川**

宗猷寺は、旧高山市内唯一の臨済宗妙心寺派の寺院です。寛永9年(1632)に、3代目高山城主 金森重頼の弟 家老の金森左京重勝が建立しました。高々と積まれた石垣は、高山城から移されたといわれており、その上に、高山では珍しい二層の本堂が建っています。

境内には、山岡鉄舟の碑と、飛騨郡代だつた鉄舟の父親と、母親の墓が祀られています。少年時代を高山で過ごした鉄舟は、父親が宗猷寺の和尚と親しい間柄であったため、そこで禅学を修めたといわれています。

**川上別邸史跡公園**

かわかみ べつてい しせきこうえん



この場所は、2代目高山城主 金森可重の五男 重勝からはじまる「金森左京家」の屋敷跡です。6代目高山城主 金森頼時が出羽の国上山(現在の山形県)へ転封された後は、高山の「町年寄」川上家の別邸になりました。別邸とは別荘のことで、商売を息子たちにゆづつた川上右衛門がこの地に隠居し、のんびり過ごしたそうです。明治時代までは7つの建物が並ぶ立派な屋敷でしたが、現在残っている当時の建物は稲荷社と、左官職人「江戸屋万蔵」の作と伝わる土蔵だけです。土蔵の扉の内側には、2羽の鶴と、松の木を描いた鍔(こて) 絵とよばれる細工があり、職人の腕の良さが光ります。

**東山発見!!**  
**朱印**

※説明文は、当日配布された朱印帳の内容を参考にしています

地獄絵は、以前の絵をもとに作られたもの(以前の絵も大切に保存されています)で、色鮮やかで恐ろしい絵です。生きていくうちに悪いことをしたり、嘘をついて人を騙すと地獄におちるといふことを表しています。



養老4年(720)に泰澄大師が飛騨に白山社を創建し、別当妙観寺を建立しました。その後、天台宗に属しますが衰退し、荒れ果ててしまいました。応永2年(1395)に竹窓智嚴禪師が弘法のため立ち寄られた際、再建し、飛騨で最初の曹洞宗の道場「雲龍寺」を創建しました。

鐘楼門(しようろうもん)は、屋根・通路・上層の戸溝などが他の寺院には無い形状です。もともと、高山城にあった黄雲閣(こううんかく)という建物で、城が取り壊される際に移築されたものです。羽目板の一部に焼け跡があります。享保14年(1729)の大火から焼け残った跡です。



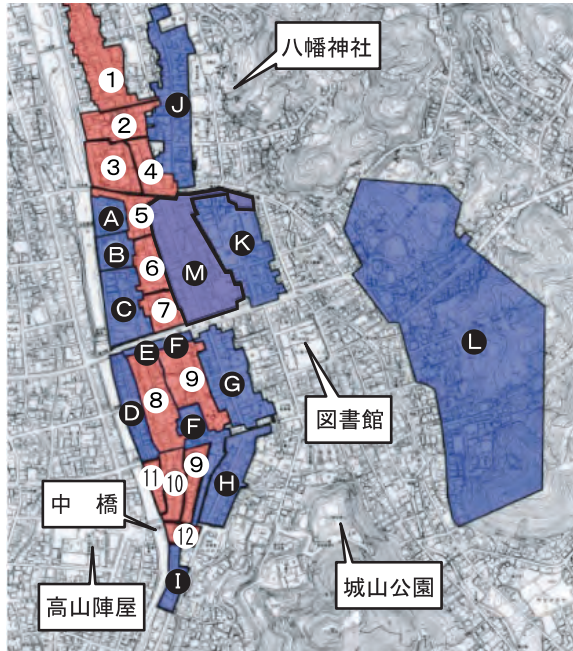


# 高山市の伝建地区・景観保存地区の保存会 Vol. 7

高山市景観町並保存連合会は、高山市市街地景観保存区域の13の景観保存会と、高山市伝統的建造物群保存地区の12の町並保存会で組織されています。ここでは各号、保存会をご紹介します。



※ 左図の M が新たに指定された  
下一之町保存区域



おおじんまちいっちょうめ さんばん  
保存会名：大新町1丁目3班町並保存会（地図②）  
保存会長：荒木 義昭（あらかき よしあき）さん  
会員軒数：36軒（その内6軒は居住者が居ない商店など）  
該当町内：大新町1丁目第3班  
主な目印：櫻山八幡宮表参道・越中街道・宮川  
・鳳凰台組秋葉社  
主な行事：櫻山八幡宮例祭時の屋台曳き揃い  
・秋葉社例祭（年3回）・飛騨高山はちまん市  
・花いっぱい運動への参加・防火訓練  
会の実績：電柱地中化工事・会員宅の火災報知機設置工事と年1回の取扱い訓練  
ひとこと：櫻山八幡宮表参道および越中街道が通り、宮川に面した地域で、町並みの維持を地域の美化に努めています。

高山市行政情報 ↓ くらしの情報 ↓ 生涯学習・文化・スポーツ ↓ 文化財・歴史 ↓ 高山市景観町並保存連合会 ↓ 町なみ飛騨高山

うらしまたいぐみ  
保存会名：浦島台組町並保存会（地図④）  
保存会長：今井 馨（いまい かおる）さん  
会員軒数：30軒  
該当町内：大新町1丁目1班・八幡町3軒  
主な目印：江名子川の赤い「桜橋」・食事処「京や」  
・「野畑茶舗」・浦島台秋葉社・八幡櫻町秋葉社  
主な行事：総会で必ず「規約」や「修復・修理」の申し合わせ事項確認・年1回の防災訓練・消火器点検  
会の実績：グループ火災報知器を全戸に設置・側溝



のふたのビスの取付が不良だったため、5000本の取り替えを行なった・側溝のふたの塗装をした

ひとこと：約半数が不在所有者の建物（市内他所居住者所有が6軒・市外居住者所有が7軒）なので周知徹底に心がけている。



しもさんのまちかみぐみ  
保存会名：下三之町上組景観保存会（地図③）  
保存会長：打保 正守（うつぼ まさもり）さん  
会員軒数：35軒  
該当町内：下三之町 第1・2・3班  
主な目印：仙人台屋台蔵・宮川朝市・鍛冶橋・東山白山神社御旅所（朝市通り南端）  
主な行事：櫻山八幡宮例祭時の屋台・秋葉祭り  
会の実績：平成25年：匠館新築工事・26年：新設工事（セブンイレブン・古い町並美術館）・27年：十六銀行高山支店建替えのための取り壊し工事（28年4月0PEN予定）などにおいて、建物のデザインと町並景観の調和について、建築会社と協議を重ねて承に至った。  
ひとこと：この地域では近年、大規模な開発が相次いでいます。高山市の中心に位置し、伝建地区に隣接しているため、町並景観と新築建物の調和モデルになると考えています。責務の重大さを意識し、保存会と建築関係者との協議を重ね、景観町並保存連合会と高山市とを巻き込んだ有意義な取り組みを行うことが出来ました。当保存会の誇りです。